

授業科目 介護におけるコミュニケーションⅠ

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
佐藤 ユリ子		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
	○		○	◎	
【概要・一般目標：G10】					
<ul style="list-style-type: none"> ・介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解する。 ・利用者、利用者家族あるいは他職種協働におけるコミュニケーション能力を身につける。 					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割、利用者・家族との関係づくり 2 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 3 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際 4 介護におけるチームのコミュニケーション 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	介護におけるコミュニケーションの基本			1	講義・演習、担当：佐藤 ユリ子
2	話を聴く技法			1	演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子
3	利用者の感情表現の気づきパート1			1	演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子
4	利用者の感情表現の気づきパート2			1	演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子
5	介護現場における利用者とのコミュニケーション			2	講義・演習、担当：佐藤 ユリ子
6	介護現場における利用者とのコミュニケーション			2	講義・演習、担当：佐藤 ユリ子
7	納得と同意を得る技法			2	演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子
8	相談・助言・指導			2	演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子
9	利用者本人と家族の意向の調整を図る技法			2	演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子
10	利用者本人と家族の意向の調整を図る技法			2	演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子
11	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法1			3	講義・演習、担当：佐藤 ユリ子
12	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法2			3	演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子
13	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法3			3	演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子
14	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法4			3	演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子
15	まとめ				担当：佐藤 ユリ子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新版介護福祉士養成講座5コミュニケーション技術		中央法規	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席・授業態度・期末試験・レポート		<ul style="list-style-type: none"> ・グループ討議では、積極的に発言する。 ・演習で体験した事柄を対象者に応じて工夫できるよう学習する。 			